



進路だより

令和5年度

12月号

令和5年12月31日発行

渋川青翠高等学校 進路指導部

●● 3年生の進路状況 ●●

今年度の3年生の進路希望と合格・内定状況は下記のとおりです。進路希望数は大学・短期大学は昨年度とほぼ同じですが、専門学校が減少し、その分、就職が増加しています。

		大学	短大	専門学校	就職	その他	合計
希望者	男子	12	2	18	26	1	59
	女子	6	2	34	36	1	79
	全体	18	4	52	62	2	138
	割合 (昨年度)	13.0% (11.7%)	2.9% (3.6%)	37.7% (50.4%)	44.9% (32.1%)	1.4% (2.2%)	100%
合格・内定		10	4	48	52	—	116

(令和5年12月21日現在)

●● 進路体験記 ●●

③ 大同特殊鋼株式会社 女子

私は高校1年生のときに進路を就職に決めました。ですがその時はまだ、何をしたいか決めていませんでした。2年生の後半あたりから、自分の好きなことではなく、「この仕事がなくは社会が成り立たない、誰かの役に立つ仕事」がしたいと思うようになりました。しかし、学校に届く求人票を見ても、あまりやりたいと思えるものはありませんでした。そんなときに、ある先生が大同特殊鋼を勧めてくれました。鉄鋼業？私のやりたいことと関係ない、始めはそう思っていました。でも、とりあえず行ってみようかな、そんな気持ちで企業見学に行きました。企業見学は渋川市内にある渋川工場に行きました。部屋に案内され、机にはパンフレットが用意されていました。その後、1時間ほど大同特殊鋼について説明を受けました。その1時間で私の気持ちは大きく変わりました。大同特殊鋼はロケットのエンジンの芯となる部分やスマートフォンの基盤の一部、車のエンジン部分の鉄など、私達の生活に欠かせないものを数多く製造していました。それはまさに私が思っていた「この仕事がなくは社会が成り立たない、誰かの役に立つ仕事」でした。私はこの企業見学で大同特殊鋼への出願を決めました。

就職試験は愛知県にある本社へ行かなければいけませんでした。試験は2日間かけて行われ、1日目に制服や作業着の採寸と適性検査を行い、2日目に面接という流れでした。試験会場には大分県や、福井県から来ているという人もいました。面接が始まる前に大同特殊鋼の方が「緊張すると思うけれど、自分の言葉で伝えればOKです」と言ってくれました。その一言で、私は面接会場では緊張せずに、「自分が大同特殊鋼で働きたい」という強い気持ちを伝えることができました。結果は一週間ほどで届くと聞いたのですが、待ちきれず担任の先生に直接聞きに行ったとき、丁度内定通知が届いており、無事、内定をもらえました。

最後に、大同特殊鋼を勧めてくれた先生、試験前日に応援してくれた先生、心から感謝しています。何事も全力で、自信を持って取り組むことが大切だと思います。

後輩の皆さん！面接は建前も大事ですが、一番大切なのは自分の本当の気持ちです。自分の働きたいという真摯な気持ちを企業にぶつけましょう。進路の実現に向けて頑張ってください。

履修科目	
2年	現代文B 国語表現 世界史A 地理A 物理基礎 地学基礎 体育 保健 美術II エ芸一般I デッサンI コミュニケーション英語II デザイン基礎
3年	現代文B 国語表現 生物 体育 工芸一般II 経済活動と法 ビジネス基礎 電子商取引 構成 異文化理解